

第104回全国高等学校野球選手権秋田大会を終えて

～ 表彰式でのあいさつ ～

秋田県高等学校野球連盟

会長 尾形徳昭

大会を終えるにあたり、主催者の1人として御挨拶を申し上げます。

まずは本日の決勝戦、勝ちました秋田県立能代松陽高等学校の選手の皆さん、11年ぶり4回目、能代松陽高校としては初めての優勝、おめでとう。劣勢にも動揺せず、自分たちの力を信じ、信念を持って戦った姿はとても素晴らしかったです。本当におめでとう。

一方、準優勝の秋田県立秋田南高等学校の選手の皆さん、敗れはしましたが、一時は同点に追いつくなど、粘り強い戦いを見せてくれました。エースでキャプテンの負傷はありましたが、最後まで諦めずに戦った姿は素晴らしかったです。皆さんの健闘を讃えたいと思います。

私事となりますが、優勝した能代松陽高校の工藤明監督さんとは、一緒に高校球児を指導した経験があります。また、準優勝の秋田南高校の伊藤雅和校長先生は、私の高校時代の同級生です。土俵は違いますが、20年、40年の時を経て、同じ釜の飯を食った仲間と高校野球を縁に出会えたことに、不思議な巡り合わせと喜び感じました。

本日、両校の選手の皆さんは、憧れの甲子園を目指し、正々堂々（Fairplay）と力の限り戦ってくれました（Fight）。勝敗は決しましたが、いずれ、この晴れ舞台で共に必死になって戦った仲間として、友情（Friendship）を育てていってくれば幸いです。高野連旗に描かれた「F」マークは、そうした皆さんの姿の象徴です。

そして、秋田県代表となった能代松陽高校の選手の皆さんには、秋田県高野連に加盟している44校、39チームの熱い思いを胸に、甲子園球場で大活躍されることを期待しています。

最後になりましたが、今大会を運営するにあたり、御尽力いただきました秋田県野球協会審判部、部長進藤文勝様はじめ審判員の方々、こまちスタジアムをはじめとする4球場の関係職員の皆様、各報道機関の皆様、そして、球場に足を運んでいただき、コロナウイルス感染防止に御協力をいただきながら、高校球児のプレーを温かく見守り、声援をくださった観客の皆様と保護者の皆様、高校野球を支えていただきました全ての皆様に、感謝と御礼を申し上げ、あいさつとさせていただきます。本当にありがとうございました。

2022年7月21日